

阿寒摩周国立公園

公園計画変更書

[ 一部変更 ]  
( 環境省原案 )

令和 2 年 10 月 27 日

環 境 省

## 目次

第1	公園計画の変更	1
1	変更理由	1
2	基本方針の変更内容	2
3	規制計画の変更内容	4
(1)	保護規制計画及び関連事項	4
ア	関連事項	4
(ア)	採取等規制植物	4
(イ)	植栽等規制植物及び区域	30
(ウ)	乗入れ規制区域及び期間	32
4	事業計画の変更内容	35
(1)	施設計画	35
ア	保護施設計画	35
(ア)	植生復元施設	35
イ	利用施設計画	37
(ア)	集団施設地区	37
(イ)	単独施設	41
(ウ)	道路	43
a	歩道	43
5	参考事項	56

## 第 1 公園計画の変更

### 1 変更理由

阿寒摩周国立公園は、北海道東部、千島火山帯の西南端に位置する阿寒・摩周・屈斜路の3つのカルデラを主体とした、火山と森と湖が織りなす原生的景観を有する地域である。昭和9年12月4日に「阿寒国立公園」として指定され、昭和13年5月13日に特別地域の指定、昭和29年8月3日に特別保護地区の指定が行われ、昭和52年11月の再検討の後、5度の点検が行われている。平成29年8月8日の第5次点検では、摩周湖周辺及び神の子池周辺の公園区域の拡張等を行うとともに「阿寒摩周国立公園」への名称変更をおこなった。

本公園は、釧路市における観光立国ショーケースや、弟子屈町におけるエコツーリズム全体構想の策定等の取り組みが評価され、平成28年度より開始された国立公園満喫プロジェクトにおいて、先行的・集中的に取り組みを進める公園（以下、先行8公園）として選定されており、平成28年8月に阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会を立ち上げ、訪日外国人客を増加させるための取り組みを「阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020」として同年12月にとりまとめ、同プログラムに基づく取り組みを進めている。

ステップアッププログラムについては、中間評価を踏まえて平成31年1月に改定し、2020年までに向けて今後加速化していく主な取り組みを追加した。また、満喫プロジェクトの取り組み継続も見据えて令和2年2月に開催した地域協議会において、2021年以降の取り組み方針について合意した。

国立公園満喫プロジェクトの推進により、国立公園の利用に関する様々な取り組みが進んできたところであるが、これまでの取り組みを踏まえて2021年以降に向けた新たな取り組みを推進していくため、保護規制計画及び関連事項並びに事業計画を変更するための一部変更を行うものである。

2 基本方針の変更内容

基本方針を次のとおり変更する。

(表1：基本方針変更表)

変更後	変更前
<p>(1) 景観型式及びその特性</p> <p>ア 地形地質</p> <p>イ 地被</p> <p>ウ 特殊景観</p> <p>(2) 保護の方針</p> <p>ア 本公園はカルデラ景観とこれを覆う亜寒帯性森林、高山植生、火山現象等の原的景観地域を多く包含しており、これらの地学的景観及び植生等の保護に重点を置くものとする。<u>また、世界で唯一となった球状マリモの群生地である阿寒湖においては、かつての生育地の復元を進める。</u></p> <p>(略)</p> <p><u>カ 雌阿寒岳山腹部とオンネトー周辺、フップシ岳、屈斜路湖</u> <u>一帯、藻琴山から美幌峠へかけての外輪山山稜部、摩周外輪山山稜部、阿寒カルデラの各内壁を形成する一体、木禽岳周辺等については、野生動植物を始めとする自然環境の保護及び静穏の維持のため、乗り入れ規制区域とする。</u></p> <p>(3) 利用の方針</p> <p>エ 道路のうち車道については、既に大部分が整備済みである</p>	<p>(1) 景観型式及びその特性</p> <p>ア 地形地質</p> <p>イ 地被</p> <p>ウ 特殊景観</p> <p>(2) 保護の方針</p> <p>ア 本公園はカルデラ景観とこれを覆う亜寒帯性森林、高山植生、火山現象等の原的景観地域を多く包含しており、これらの地学的景観及び植生等の保護に重点を置くものとする。</p> <p>(3) 利用の方針</p> <p>エ 道路のうち車道については、既に大部分が整備済みである</p>

が、歩道については、興味地点を探勝又は登山するためのものを中心としつつ、本公園が将来的にひがし北海道の3空港をつなぐロングトレイルの結節点となるよう、公園内の歩道をネットワークでつなぐよう計画する。

が、歩道については、各集団施設地区等の利用拠点より派生し、興味地点を探勝又は登山するためのものとして計画に重点を置くものとする。

### 3 規制計画の変更内容

#### (1) 保護規制計画及び関連事項

保護規制計画等の一部を次のとおり変更する。

##### ア 関連事項

##### (ア) 採取等規制植物

採取等規制植物を次のとおりとする。

(表2：採取等規制植物変更表)

変 更 前		変 更 後	
科名	種名(ミズゴケ科の植物にあっては属名)	科名	種名(ミズゴケ科の植物にあっては属名)
ミズゴケ	ミズゴケ	アオミソウ	<i>Aegagropila linnaei</i> (マリモ)
シオグサ	マリモ	ミズゴケ	<i>Sphagnum spp.</i> (ミズゴケ属)
ヒカゲノカズラ	タカネスギカズラ、タカネヒカゲノカズラ	ヒカリゴケ	<i>Schistostega pennata</i> (ヒカリゴケ)
イワヒバ	エゾヒメクラマゴケ、エゾノヒモカズラ	ヒカゲノカズラ	<i>Huperzia miyoshiana</i> (ヒメスギラン)、 <i>Lycopodium annotinum var. acrifolium</i> (タカネスギカズラ)、 <i>Lycopodiella cernua</i> (ミズスギ)、 <i>Lycopodium nikoense</i> (タカネヒカゲノカズラ)
ミズニラ	ヒメミズニラ	イワヒバ	<i>Selaginella helvetica</i> (エゾノヒメクラマゴケ)、 <i>Selaginella shakotanensis</i> (ヒモカズラ)、 <i>Selaginella sibirica</i> (エゾノヒモカズラ)
ハナヤスリ	ヒメハナワラビ(ヘビノシタ)	ミズニラ	<i>Isoetes asiatica</i> (ヒメミズニラ)
オシダ	エゾメシダ、ニオイシダ、ウサギシダ、ミヤマイワデンダ	ハナヤスリ	<i>Botrychium lunaria</i> (ヒメハナワラビ(ヘビ
ウラボシ	エゾデンダ、イワオモダカ		
マツ	ハイマツ		
ヒノキ	ミヤマビャクシン(ミヤマハイビャクシン)		
タデ	ヒメイワタデ(チシマヒメイワタデを含		

	む)、エゾノミズタデ、エゾイブキトラノオ、ムカゴトラノオ、ウラジロタデ		ノシタ))、 <i>Botrychium strictum</i> (ナガホノナツノハナワラビ(ナガボノナツハナワラビ))、 <i>Botrychium virginianum</i> (ナツノハナワラビ)
ナデシコ	メアカンフスマ、エゾカワラナデシコ、タカネナデシコ(クモイナデシコを含む)、クシロワチガイ、チシママンテマ、エゾフスマ(シラオイハコベ)、ナガバツメクサ、エゾオオヤマハコベ	トクサ	<i>Equisetum scirpoides</i> (ヒメドクサ)
キンボウゲ	エゾノレイジンソウ(ダイセツレイジンソウ)、カラフトブシ、エゾトリカブト、ウスバトリカブト、テリハブシ、アカミノレイヨウショウマ、フクジュソウ、ヒメイチゲ、ハクサンイチゲ、ミヤマオダマキ、エゾリュウキンカ、クロバナハンショウヅル、ミヤマハンショウヅル、ミツバオウレン、チトセバイカモ、チャボカラマツ、エゾカラマツ(ミヤマアキカラマツ)	コケシノブ	<i>Hymenophyllum wrightii</i> (コケシノブ)
メギ	サンカヨウ	コバノイシカグマ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (イヌシダ(カラクサイヌシダ、フギレイヌシダ、シシイヌシダ))
スイレン	ネムロコウホネ、エゾヒツジグサ	ナヨシダ	<i>Cystopteris fragilis</i> (ナヨシダ)、 <i>Gymnocarpium dryopteris</i> (ウサギシダ(アオキガハラウサギシダ))
オトギリソウ	イワオトギリ(ハイオトギリ)	チャセンシダ	<i>Asplenium incisum</i> (トラノオシダ(チリメントラノオシダ、ファイリトラノオシダ))
モウセンゴケ	モウセンゴケ	ヒメシダ	<i>Thelypteris nipponica</i> (ニッコウシダ)、 <i>Thelypteris palustris</i> (ヒメシダ(ショリマ))、 <i>Thelypteris quelpaertensis</i> (オオバショリマ(ヤクシマショリマ))、 <i>Phegopteris connectilis</i> (ミヤマワラビ)
ケシ	エゾキケマン、コマクサ	イワデンダ	<i>Woodsia ilvensis</i> (ミヤマイワデンダ)、 <i>Woodsia manchuriensis</i> (フクロシダ)、 <i>Woodsia polystichoides</i> (イワデンダ(エゾイワデンダ))
アブラナ	ミヤマハタザオ		

ベンケイソウ	ホソバイワベンケイ(アオノイワベンケイ)、イワベンケイ	メシダ	<i>Athyrium brevifrons</i> (エゾメシダ(コウライメシダ))、 <i>Athyrium rupestre</i> (ミヤマヘビノネゴザ)
ユキノシタ	トカチスグリ、ダイヤモンドソウ、エゾクロクモソウ、フキユキノシタ、ヤマハナソウ	オシダ	<i>Dryopteris amurensis</i> (オクヤマシダ)、 <i>Dryopteris coreanomontana</i> (カラフトメンマ(オシダモドキ))、 <i>Dryopteris fragrans</i> (ニオイシダ)、 <i>Dryopteris saxifraga</i> (イワイタチシダ(イワベニシダ))、 <i>Polystichum craspedosorum</i> (ツルデンダ(キクバツルデンダ))
バラ	クロミサンザシ、イワキンバイ、メアカンキンバイ、クロバナロウゲ、ミネザクラ(チシマザクラを含む)、オオタカネバラ、カラフトイバラ、マルバシモツケ、エゾノマルバシモツケ、エゾシモツケ(エゾノシロバナシモツケ)、ホザキシモツケ	ウラボシ	<i>Lepisorus annuifrons</i> (ホテイシダ)、 <i>Lepisorus ussuriensis</i> var. <i>distans</i> (ミヤマノキシノブ)、 <i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (カラクサシダ)、 <i>Polypodium fauriei</i> (オシャグジデンダ(オシャゴジデンダ))、 <i>Polypodium sibiricum</i> (エゾデンダ)、 <i>Polypodium vulgare</i> (オオエゾデンダ)、 <i>Pyrrosia hastata</i> (イワオモダカ)、 <i>Selliguea hastata</i> (ミツデウラボシ(リュウキュウミツデウラボシ、チャボミツデウラボシ、ヤトミウラボシ、フギレミツデウラボシ、クジャクウラボシ))
マメ	センダイハギ	マツ	<i>Pinus pumila</i> (ハイマツ)
フウロソウ	チシマフウロ(トカチフウロ)、イチゲフウロ、エゾフウロ		
スミレ	ウスバスミレ		
アカバナ	ヒメアカバナ、カラフトアカバナ、ホソバアカバナ		
ミズキ	ゴゼンタチバナ		
セリ	シラネニンジン		
イワウメ	イワウメ、イワカガミ(コイワカガミ、オオイワカガミを含む)		
イチヤクソウ	ウメガサソウ、ギンリョウソウ、カラフトイチヤクソウ(エゾイチヤクソウ)、ベ		

	ニバナイチャクソウ(ベニイチャクソウ)、ジンヨウイチャクソウ、コイチャクソウ	ヒノキ	<i>Juniperus chinensis var. sargentii</i> (ミヤマビャクシン(シンパク))
ツツジ	コメバツガザクラ、イワヒゲ、シラタマノキ、イソツツジ(エゾイソツツジ)、ミネズオウ、ツルコケモモ、キバナシャクナゲ、ハクサンシャクナゲ(シロバナシャクナゲ、エゾシャクナゲを含む)、エゾツツジ、エゾムラサキツツジ、コメツツジ、ミヤマホツツジ、イワツツジ、クロマメノキ、コケモモ	ヤマモモ	<i>Myrica gale var. tomentosa</i> (ヤチヤナギ)
ガンコウラン	ガンコウラン	ヤナギ	<i>Salix reinii</i> (ミヤマヤナギ(ミネヤナギ、マルバミネヤナギ、ミチノクマルバミネヤナギ、シコタンヤナギ))、 <i>Salix taraiensis</i> (タライカヤナギ(ヒロハノタライカヤナギ、チョウセンミネヤナギ))
サクラソウ	サクラソウモドキ、ヤナギトラノオ、クリンソウ、エゾオオサクラソウ、ユキワリコザクラ、ツマトリソウ、コツマトリソウ	カバノキ	<i>Alnus viridis subsp. maximowiczii var. maximowiczii</i> (ミヤマハンノキ(サルクラハンノキ))
リンドウ	エゾリンドウ、エゾオヤマリンドウ、ハナイカリ、チシマセンブリ	ビャクダン	<i>Thesium chinense</i> (カナビキソウ)
ムラサキ	エゾルリソウ、エゾムラサキ	タデ	<i>Aconogonon ajanense</i> (ヒメイワタデ(チシマヒメイワタデ))、 <i>Aconogonon weyrichii var. weyrichii</i> (ウラジロタデ(ウラジロイタドリ、タカネウラジロイタドリ))、 <i>Bistorta officinalis subsp. japonica</i> (イブキトラノオ(ホソバイブキトラノオ、イワイブキトラノオ))、 <i>Bistorta vivipara</i> (ムカゴトラノオ)、 <i>Persicaria amphibia</i> (エゾノミズタデ)、 <i>Persicaria hydropiper var. hydropiper</i> (ヤナギタデ(ホンタデ、マタデ、カワタデ、ナガボヤナギタデ))、 <i>Ru</i>
シソ	エゾタツナミソウ、イブキジャコウソウ		
ゴマノハグサ	エゾコゴメグサ、ヨツバシオガマ(エゾヨツバシオガマを含む)、トモエシオガマ、イワブクロ(タルマイソウ)、キクバクワ		

	ガタ(シラゲキクバクワガタ、ホソバキクバクワガタを含む)		<i>mex alpestris</i> subsp. <i>lapponicus</i> (タカネスイバ)、 <i>Rumex longifolius</i> (ノダイオウ)
スイカズラ	リンネソウ、エゾヒョウタンボク、クロミノウグイスカズラ、チシマヒョウタンボク、ネムロブシダマ、ベニバナヒョウタンボク、ウコンウツギ	スベリヒユ	<i>Montia fontana</i> (ヌマハコベ(オオミズハコベ、モンチソウ))
キキョウ	ハクサンシャジン、チシマギキョウ、イワギキョウ、サワギキョウ	ナデシコ	<i>Arenaria merckiioides</i> var. <i>merckiioides</i> (メアカンフスマ)、 <i>Dianthus superbus</i> var. <i>superbus</i> (エゾカワラナデシコ)、 <i>Dianthus superbus</i> var. <i>speciosus</i> (タカネナデシコ)、 <i>Pseudostellaria sylvatica</i> (クシロワチガイソウ(クシロワチガイ、ホソバワチガイソウ))、 <i>Silene repens</i> var. <i>latifolia</i> (チシママンテマ)、 <i>Stellaria fenzi</i> (シラオイハコベ(エゾフスマ))、 <i>Stellaria humifusa</i> (エゾハコベ)、 <i>Stellaria longifolia</i> (ナガバツメクサ(ナガバノツメクサ、エダウチヒメハコベ、カラフトノミノフスマ、エゾノミノフスマ))、 <i>Stellaria radians</i> (エゾオオヤマハコベ)、 <i>Stellaria ruscifolia</i> (シコタンハコベ(ネムロハコベ))
キク	エゾノコギリソウ、エゾノチチコグサ、オオワタヨモギ(ヒロハウラジロヨモギ)、マシュウヨモギ、エゾムカシヨモギ、タカネニガナ、エゾウスユキソウ(レブンウスユキソウ)、トウゲブキ、ナガバキタアザミ、ミヤマアキノキリンソウ(コガネギク)(キリガミネアキノキリンソウを含む)	キンポウゲ	<i>Aconitum gigas</i> (エゾレイジンソウ(エゾノレイジンソウ))、 <i>Aconitum sachalinense</i> subsp. <i>Sachalinense</i> (カラフトブシ(ケミノカラフトブシ、コカラフトブシ))、
ユリ	ツバメオモト、クロユリ、キバナノアマナ、ニッコウキスゲ(エゾゼンテイカ(エゾカンゾウ)、ゼンテイカ)、タチギボウシ、エゾスカシユリ、クルマユリ、チシマゼキショウ(リシリゼキショウ)、オオナバナエンレイソウ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ(シロバナエンレイソ		

	ウ)		
アヤメ	ヒオウギアヤメ		
イグサ	タカネスズメノヒエ(ミヤマスズメノヒエ)		
イネ	ミヤマヌカボ、ホソバドジョウツナギ		
サトイモ	ヒメカイウ、ヒメザゼンソウ		
カヤツリツサ	カヤツリスゲ、ヤチスゲ、ホロムイスゲ、カワズスゲ(ヤチカワズスゲを含む)、ウスイロスゲ(エゾカワズスゲ)、ワタスゲ		
ラン	キンセイラン、ササバギンラン、アオチドリ、サイハイラン、イチヨウラン、コイチヨウラン、アオスズラン(エゾスズラン)、トラキチラン、オニノヤガラ、ヒメミヤマウスラ、ノビネチドリ、ミヤマモジズリ、ジガバチソウ、スズムシソウ、フタバラン(コフタバラン)、ミヤマフタバラン、ホザキイチヨウラン、アリドオシラン、サカネラン、ハクサンチドリ(ウズラバハクサンチドリを含む)、コケイラン、タカネトンボ、ミズチドリ、エゾチドリ、キソチドリ、ホソバノキソチドリ、ヒロハトンボソウ、トンボソウ		<p><i>Aconitum sachalinense</i> subsp. <i>yezoense</i> (エゾトリカブト(ウスバトリカブト、テリハブシ))、<i>Aconitum iinumae</i>(オオレイジンソウ)、<i>Actaea erythrocarpa</i> (アカミノルイヨウショウマ)、<i>Adonis amurensis</i>(キタミフクジュソウ(アムールフクジュソウ、イチゲフクジュソウ))、<i>Adonis ramosa</i>(フクジュソウ(エダウチフクジュソウ))、<i>Anemone debilis</i>(ヒメイチゲ)、<i>Anemone narcissiflora</i> var. <i>sachalinensis</i> (エゾノハクサンイチゲ(ハクサンイチゲを含む)×カラフトセンカソウ、イチリンハクサンイチゲ))、<i>Aquilegia flabellata</i> var. <i>pumila</i>(ミヤマオダマキ(ヒメオダマキ))、<i>Caltha fistulosa</i> (エゾノリュウキンカ(エゾリュウキンカ))、<i>Caltha palustris</i> var. <i>enkoso</i>(エンコウソウ)、<i>Clematis alpina</i> subsp. <i>ochotensis</i> var. <i>fusijamana</i>(ミヤマハンショウヅル)、<i>Clematis fusca</i> var. <i>fusca</i>(クロバナハンショウヅル(エゾハンショウヅル))、<i>Coptis trifolia</i>(ミツバオウレン(カタバミオウレン))、<i>Ranunculus grandis</i> var. <i>austrokurilensis</i> (シコタンキンポウゲ</p>

	(アイヌキンポウゲ)、 <i>Ranunculus japonicus</i> var. <i>japonicus</i> (ウマノアシガタ(キンポウゲ))、 <i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>submersus</i> (バイカモ(ウメバチモ、エチゴバイカモ))、 <i>Ranunculus yezoensis</i> (チトセバイカモ(ネムロウメバチモ、エゾウメバチモ))、 <i>Thalictrum baicalense</i> (ハルカラマツ(ニッコウカラマツソウ、ニッコウカラマツ))、 <i>Thalictrum foetidum</i> var. <i>glabrescens</i> (チャボカラマツ)、 <i>Thalictrum sachalinense</i> (エゾカラマツ(ミヤマアキカラマツ))
メギ	<i>Caulophyllum robustum</i> (ルイヨウボタン)、 <i>Diphylleia grayi</i> (サンカヨウ(キレハサンカヨウ))
スイレン	<i>Brasenia schreberi</i> (ジュンサイ)、 <i>Nuphar pumila</i> var. <i>pumila</i> (ネムロコウホネ(エゾコウホネ、マンシュウコウホネ))、 <i>Nymphaea tetragona</i> (ヒツジグサ(エゾノヒツジグサ、エゾヒツジグサ))
ウマノスズクサ	<i>Asarum heterotropoides</i> var. <i>heterotropoides</i> (オクエゾサイシン)
ボタン	<i>Paeonia japonica</i> (ヤマシャクヤク(ノシャクヤク))

		クヤク)、 <i>Paeonia obovata</i> (ベニバナヤマシャクヤク)
オトギリソウ		<i>Hypericum kamtschaticum</i> (ハイオトギリ(チシマオトギリ))、 <i>Hypericum nakaii</i> subsp. <i>miyabei</i> (トウゲオトギリ)、 <i>Hypericum yezoense</i> (エゾオトギリ)
モウセンゴケ		<i>Drosera rotundifolia</i> (モウセンゴケ)
ケシ		<i>Corydalis speciosa</i> (エゾキケマン)、 <i>Dicentra peregrina</i> (コマクサ)
アブラナ		<i>Arabidopsis kamchatica</i> subsp. <i>Kamchatica</i> (ミヤマハタザオ)、 <i>Barbarea orthoceras</i> (ヤマガラシ(マルバヤマガラシ、ミヤマガラシ、イブキガラシ、シベリアヤマガラシ、エゾヤマガラシ))、 <i>Cardamine yezoensis</i> (エゾワサビ(アイヌワサビ、ミツバタネツケバナ、ツルワサビ))
ベンケイソウ		<i>Phedimus aizoon</i> var. <i>aizoon</i> (ホソバノキリンソウ(ナガバノキリンソウ、ミヤマキリンソウ))、 <i>Phedimus kamtschaticus</i> (エゾノキリンソウ(エゾキリンソウ))、 <i>Rhodiola ishidae</i> (ホソバイワベンケイ(アオイワベンケイソウ))、 <i>Rhodiola rosea</i> (イワベンケイ(イワキリンソウ、ナガバノイ

		ワベンケイ、イワベンケイソウ) )
	ユキノシタ	<i>Chrysosplenium alternifolium</i> var. <i>sibiricum</i> (エゾネコノメソウ (カラフトネコノメソウ、オクヤマネコノメソウ) )、 <i>Mitella nuda</i> (マルバチャルメルソウ (チョウセンチャルメルソウ) )、 <i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i> (ウメバチソウ (エゾウメバチソウ) )、 <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>mutabilis</i> (ダイモンジソウ (ミヤマダイモンジソウ、トウホクダイモンジソウ、タケシマダイモンジソウ) )、 <i>Saxifraga fusca</i> subsp. <i>fusca</i> (エゾクロクモソウ (チシマクロクモソウ) )、 <i>Saxifraga japonica</i> (フキユキノシタ)、 <i>Saxifraga sachalinensis</i> (ヤマハナソウ)
	スグリ	<i>Ribes latifolium</i> (エゾスグリ) )、 <i>Ribes sachalinense</i> (トガスグリ) )、 <i>Ribes triste</i> (トカチスグリ (チシマスグリ) )
	バラ	<i>Comarum palustre</i> (クロバナロウゲ (ケクロバナロウゲ) )、 <i>Crataegus chlorosarca</i> (クロミサンザシ) )、 <i>Filipendula glaberri ma</i> (エゾノシモツケソウ (チョウセンナツユキソウ) )、 <i>Potentilla ancistrifolia</i> var.

		<p><i>dickinsii</i>( イワキンバイ(アツバイワキンバイ) )、<i>Potentilla matsumurae</i> var. <i>matsumurae</i> ( ミヤマキンバイ )、<i>Potentilla miyabei</i> ( メアカンキンバイ )、<i>Prunus nipponica</i> var. <i>kurilensis</i> ( チシマザクラ )、<i>Prunus nipponica</i> var. <i>nipponica</i> ( タカネザクラ ( ミネザクラ ) )、<i>Rosa acicularis</i>( オオタカネバラ ( オオタカネイバラ ) )、<i>Rosa amblyotis</i> ( カラフトイバラ ( ヤマハマナス、カラフトバラ ) )、<i>Rubus pedatus</i> ( コガネイチゴ )、<i>Sanguisorba tenuifolia</i> var. <i>kurilensis</i> ( チシマワレモコウ )、<i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>aemiliana</i>( エゾノマルバシモツケ ( ケナシエゾノマルバシモツケを含む ) )、<i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>betulifolia</i> ( マルバシモツケ )、<i>Spiraea media</i> var. <i>sericea</i>( エゾシモツケ( コエゾシモツケ ) )、<i>Spiraea miyabei</i> ( エゾノシロバナシモツケ )、<i>Spiraea salicifolia</i>( ホザキシモツケ )</p>	
	マメ	<i>Thermopsis lupinoides</i> ( センダイハギ )、 <i>Vicia unijuga</i> var. <i>unijuga</i> ( ナンテンハギ ( フタバハギ、アズキナ、タニワタシ ) )	
	フウロソウ	<i>Geranium erianthum</i> ( チシマフウロ ( エゾ	

		タチフウロ、オオフウロ))、 <i>Geranium sibiricum</i> (イチゲフウロ (シベリアフウロ))、 <i>Geranium yezoense</i> var. <i>yezoense</i> (エゾフウロ)
	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i> (ヒメハギ (ハイヒメハギ))
	カエデ	<i>Acer tschonoskii</i> var. <i>tschonoskii</i> (ミネカエデ)、 <i>Acer ukurunduense</i> (オガラバナ (ホザキカエデ))
	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>japonica</i> (エゾノクロウメモドキ (エゾクロウメモドキ))
	スミレ	<i>Viola biflora</i> var. <i>biflora</i> (キバナノコマノツメ (ケタカネスミレ))、 <i>Viola blandifloris</i> (ウスバスミレ)、 <i>Viola collina</i> (エゾノアオイスミレ (エゾアオイスミレ、マルバケスミレ、テシオスミレ、ニオイケスミレ))、 <i>Viola hultenii</i> (チシマウスバスミレ (ケウスバスミレ))、 <i>Viola patrinii</i> var. <i>patrinii</i> (シロスミレ (シロバナスミレ、ハダカシロスミレ))、 <i>Viola verecunda</i> var. <i>semilunaris</i> (アギスミレ)
	アカバナ	<i>Circaea canadensis</i> subsp. <i>quadrisulcata</i> (エゾミズタマソウ)、 <i>Epilobium ciliatum</i>

	(カラフトアカバナ(アズマアカバナ、ノダアカバナ、マンシュウアカバナ))、 <i>Epilobium fauriei</i> (ヒメアカバナ)、 <i>Epilobium palustre</i> (ホソバアカバナ(ヤナギアカバナ))
アリノトウグサ	<i>Myriophyllum spicatum</i> (ホザキノフサモ(キングヨモ))、 <i>Myriophyllum ussuriense</i> (タチモ)、 <i>Myriophyllum verticillatum</i> (フサモ(キツネノオ))
ミズキ	<i>Cornus canadensis</i> (ゴゼンタチバナ)
セリ	<i>Angelica acutiloba</i> subsp. <i>iwatensis</i> (ミヤマトウキ(イワテトウキ、ナンブトウキ))、 <i>Bupleurum longiradiatum</i> var. <i>elatus</i> (ホタルサイコ)、 <i>Pleurospermum uralense</i> (オオカサモチ(オニカサモチ))、 <i>Tilingia ajanensis</i> var. <i>ajanensis</i> (シラネニンジン(チシマニンジン))
イワウメ	<i>Diapensia lapponica</i> subsp. <i>obovata</i> (イワウメ)
イチヤクソウ	<i>Chimaphila japonica</i> (ウメガサソウ)、 <i>Hypopitys monotropa</i> (シャクジョウソウ(シャクジョウバナ))、 <i>Monotropastrum humile</i> (ギンリョウソウ(マルミノギンリョウ

		<p>ソウ、コギンリョウソウ) )、<i>Orthilia secunda</i>( コイチャクソウ )、<i>Pyrola alpina</i>( コバノイチャクソウ )、<i>Pyrola asarifolia</i> subsp. <i>incarnata</i> ( ベニバナイチャクソウ )、<i>Pyrola faurieana</i>( カラフトイチャクソウ )、<i>Pyrola japonica</i> f. <i>subaphylla</i> ( ヒトツバイチャクソウ )、<i>Pyrola minor</i> ( エゾイチャクソウ ( チシマイチャクソウ ) )、<i>Pyrola renifolia</i> ( ジンヨウイチャクソウ )</p>	
	<p>ツツジ</p>	<p><i>Andromeda polifolia</i> ( ヒメシャクナゲ ( ニッコウシャクナゲ、カラフトヒメシャクナゲ ) )、<i>Arctericia nana</i>( コメバツガザクラ ( ハマザクラ ) )、<i>Arctous alpinus</i> var. <i>japonicus</i> ( ウラシマツツジ )、<i>Bryanthus gmelinii</i> ( チシマツガザクラ ( ヒメツガザクラ ) )、<i>Cassiope lycopodioides</i> ( イワヒゲ ( イワナガヒゲ ) )、<i>Gaultheria pyroloides</i> ( シラタマノキ ( シロモノ ) )、<i>Elliottia bracteata</i>( ミヤマホツツジ( ホナガミヤマホツツジ ) )、<i>Eubotryoides grayana</i> var. <i>glabra</i> ( エゾウラジロハナヒリノキ ( ヒロハハナヒリノキ ) )、<i>Ledum palustre</i> subsp. <i>diversipilosum</i> var. <i>diversipilosum</i> ( カラ</p>	

	<p>フトイツツジ(イツツジを含む)(カバフトイツツジ)、<i>Loiseleuria procumbens</i>(ミネズオウ)、<i>Rhododendron albrectii</i>(ムラサキヤシオツツジ(ミヤマツツジ))、<i>Rhododendron aureum</i>(キバナシャクナゲ)、<i>Rhododendron brachycarpum</i> var. <i>brachycarpum</i>(ハクサンシャクナゲ(シロバナシャクナゲ、ウラゲハクサンシャクナゲ))、<i>Rhododendron dauricum</i> var. <i>dauricum</i>(エゾムラサキツツジ(トキワゲンカイ))、<i>Rhododendron tschonoskii</i> subsp. <i>tschonoskii</i>(コメツツジ)、<i>Therorhodion camtschaticum</i> var. <i>camtschaticum</i>(エゾツツジ(カラフトツツジ))、<i>Vaccinium ovalifolium</i> var. <i>ovalifolium</i>(クロウスゴ(ミヤマクロウスゴ、エゾクロウスゴ、ナガバクロウスゴ、ナガミクロウスゴ))、<i>Vaccinium oxycoccos</i>(ツルコケモモ)、<i>Vaccinium praestans</i>(イワツツジ)、<i>Vaccinium uliginosum</i> var. <i>japonicum</i>(クロマメノキ)、<i>Vaccinium vitis-idaea</i>(コケモモ(ヒロハコケモモ、オオバコケモモ))</p>	
	<p>ガンコウラン <i>Empetrum nigrum</i> var. <i>japonicum</i>(ガンコ</p>	

		ウラン)
	サクラソウ	<i>Cortusa matthioli</i> subsp. <i>pekinensis</i> var. <i>sachalinensis</i> (サクラソウモドキ(カラフトサクラソウモドキ、エゾノサクラソウモドキ、レブンサクラソウモドキ))、 <i>Lysimachia europaea</i> f. <i>arctica</i> (コツマトリソウ)、 <i>Lysimachia europaea</i> var. <i>europaea</i> (ツマトリソウ(オオツマトリソウ))、 <i>Lysimachia thyrsoflora</i> (ヤナギトラノオ)、 <i>Primula cuneifolia</i> var. <i>cuneifolia</i> (エゾコザクラ(リシリコザクラ))、 <i>Primula japonica</i> (クリンソウ)、 <i>Primula jesoana</i> var. <i>pubescens</i> (エゾオオサクラソウ(エゾサクラソウ、エゾノサクラソウ、ウスゲノエゾザクラ))、 <i>Primula modesta</i> subsp. <i>modesta</i> var. <i>modesta</i> (ユキワリソウ(オオユキワリソウ))、 <i>Primula modesta</i> subsp. <i>modesta</i> var. <i>fauriei</i> (ユキワリコザクラ)
	リンドウ	<i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> (エゾリンドウ)、 <i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> f. <i>montana</i> (エゾオヤマリンドウ)、 <i>Gentiana zollingeri</i> (フデリンドウ)、 <i>Halenia corniculata</i> (ハナイカリ)、 <i>Pterygocalyx volu</i>

		<i>bilis</i> (ホソバツルリンドウ (ホソバノツルリンドウ))、 <i>Swertia tetrapetala subsp. tetrapetala var. tetrapetala</i> (チシマセンブリ)
	ガガイモ	<i>Vincetoxicum inamoenum</i> (エゾノクサタバナ)
	アカネ	<i>Galium boreale var. kamtschaticum</i> (エゾキヌタソウ)、 <i>Galium manshuricum</i> (エゾムグラ (マンシュウヤエムグラ))、 <i>Galium paradoxum subsp. Franchetianum</i> (ミヤマムグラ)
	ムラサキ	<i>Mertensia pterocarpa var. yezoensis</i> (エゾルリソウ (イワルリソウ))
	アワゴケ	<i>Callitriche hermaphroditica</i> (チシマミズハコベ)
	シソ	<i>Mosla japonica var. japonica</i> (ヤマジソ (シロバナヤマジソを含む))、 <i>Scutellaria pekinensis var. ussuriensis</i> (エゾタツナミソウ)、 <i>Scutellaria yezoensis</i> (エゾナミキ (エゾナミキソウ、オオナミキソウ))、 <i>Teucrium veronicoides var. veronicoides</i> (エゾニガクサ (ヒメニガクサ))、 <i>Thymus quinquecostatus var. quinquecostatus</i> (イブキ)

		ジャコウソウ(イワジャコウソウ、ナンマンジャコウソウ)
ナス		<i>Solanum megacarpum</i> (オオマルバノホロシ)
ゴマノハグサ		<i>Euphrasia maximowiczii</i> var. <i>yezoensis</i> (エゾコゴメグサ)、 <i>Pedicularis chamissonis</i> var. <i>hokkaidoensis</i> (キタヨツバシオガマ(ハッコウダシオガマ))、 <i>Pedicularis resupinata</i> subsp. <i>teucrifolia</i> var. <i>caespitosa</i> (トモエシオガマ)、 <i>Pennellianthus frutescens</i> (イワブクロ(タルマイソウ))、 <i>Veronica schmidtiana</i> subsp. <i>schmidtiana</i> (キクバクワガタ)、 <i>Veronica serpyllifolia</i> subsp. <i>humifusa</i> (テングクワガタ(ハイクワガタ))、 <i>Veronica undulata</i> (カワヂシャ(カワヂサ、カワジサ))
ハマウツボ		<i>Boschniakia rossica</i> (オニク(キムラタケ))、 <i>Phacellanthus tubiflorus</i> (キヨスミウツボ(キヨズミウツボ))
タヌキモ		<i>Utricularia minor</i> (ヒメタヌキモ(ナガレヒメタヌキモ、フトヒメタヌキモ、チビヒメタヌキモ))
スイカズラ		<i>Linnaea borealis</i> (リンネソウ(メオトバナ、

		エゾアリドオシ )、 <i>Lonicera alpigena</i> subsp. <i>glehnii</i> (エゾヒョウタンボク (オオバブシダマ、オオバエゾヒョウタンボク ) )、 <i>Lonicera caerulea</i> subsp. <i>edulis</i> (ケヨノミ )、 <i>Lonicera caerulea</i> subsp. <i>edulis</i> var. <i>emphyllocalyx</i> (クロミノウグイスカグラ )、 <i>Lonicera chamissoi</i> (チシマヒョウタンボク )、 <i>Lonicera chrysantha</i> var. <i>crassipes</i> (ネムロブシダマ )、 <i>Lonicera maximowiczii</i> var. <i>sachalinensis</i> (ベニバナヒョウタンボク )、 <i>Macrodiervilla middendorffiana</i> (ウコンウツギ)
	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i> (オミナエシ (オミナメシ、アワバナ ) )
	キキョウ	<i>Adenophora pereskiiifolia</i> var. <i>moiwana</i> (モイワシャジン (ケモイワシャジン、マンシユウツリガネニンジン ) )、 <i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i> f. <i>violacea</i> (ハクサンシャジン )、 <i>Campanula chamissonis</i> (チシマギキョウ )、 <i>Campanula lasiocarpa</i> (イワギキョウ )、 <i>Codonopsis ussuriensis</i> (バアソブ )、 <i>Lobelia sessilifolia</i> (サワギキョウ)

	キク	<p><i>Achillea alpina</i> subsp. <i>japonica</i> (キタノコギリソウ (ホロマンノコギリソウ))、<i>Achillea ptarmica</i> subsp. <i>macrocephala</i> var. <i>macrocephala</i> (エゾノコギリソウ (オオバナノコギリソウ))、<i>Antennaria dioica</i> (エゾノチチコグサ)、<i>Artemisia koidzumii</i> var. <i>koidzumii</i> (ヒロハウラジロヨモギ (オオワタヨモギ、カラフトヨモギ))、<i>Artemisia gmelinii</i> (イワヨモギ (カムイヨモギ、マンシュウイワヨモギ))、<i>Artemisia rubripes</i> (ヤブヨモギ)、<i>Artemisia tsuneoi</i> (マシュウヨモギ)、<i>Erigeron acris</i> var. <i>acris</i> (エゾムカシヨモギ (ムカシヨモギを含む) (エゾノムカシヨモギ、オクムカシヨモギ))、<i>Inula britannica</i> subsp. <i>Japonica</i> (オグルマ)、<i>Ixeridium alpicola</i> (タカネニガナ (ホソバノタカネニガナ))、<i>Lactuca sibirica</i> (エゾムラサキニガナ (ムラサキノゲシ))、<i>Leontopodium discolor</i> (エゾウスユキソウ (レブンウスユキソウ))、<i>Ligularia hodgsonii</i> (トウゲブキ (エゾタカラコウ、オニタカラコウ))、<i>Nemoseneceo nikoensis</i> (サワギク (ボロギク))、<i>Ps</i></p>	
--	----	--	--

		<i>eudognaphalium affine</i> (ハハコグサ (ホウコグサ、オギョウ))、 <i>Saussurea riederi subsp. yezoensis var. yezoensis</i> (ナガバキタアザミ (キタアザミ、ユウバリキタアザミ))、 <i>Solidago virgaurea subsp. asiatica var. asiatica</i> (アキノキリンソウ)、 <i>Solidago virgaurea subsp. leiocarpa var. leiocarpa</i> (ミヤマアキノキリンソウ (コガネギク))、 <i>Taraxacum venustum</i> (エゾタンポポ)
	トチカガミ	<i>Hydrilla verticillata</i> (クロモ (クルマモ))、 <i>Vallisneria natans var. natans</i> (セキシウモ)
	ヒルムシロ	<i>Potamogeton alpinus</i> (ホソバヒルムシロ)、 <i>Potamogeton compressus</i> (エゾヤナギモ (アカンコモ))、 <i>Potamogeton gramineus var. heterophyllus</i> (エゾノヒルムシロ (エゾヒルムシロ))、 <i>Potamogeton maackianus</i> (センニンモ)、 <i>Potamogeton pectinatus</i> (リュウノヒゲモ)、 <i>Potamogeton perfoliatus</i> (ヒロハノエビモ)、 <i>Potamogeton pusillus</i> (イトモ)
	イバラモ	<i>Najas marina</i> (イバラモ)

	<p>ユリ</p>	<p><i>Aletris foliata</i> (ネバリノギラン)、<i>Clintonia udensis</i> (ツバメオモト)、<i>Fritillaria camschatcensis</i> var. <i>camschatcensis</i> (クロユリ (エゾクロユリ))、<i>Gagea lutea</i> (キバナノアマナ (キバナアマナ))、<i>Hemerocallis dumortieri</i> var. <i>esculenta</i> (ゼンテイカ (ニッコウキスゲ、エゾゼンテイカ、センダイカンゾウ))、<i>Hosta sieboldii</i> var. <i>retifolia</i> (タチギボウシ (マルバタチギボウシ、エゾギボウシ))、<i>Lilium medeoloides</i> var. <i>medeoloides</i> (クルマユリ (チシマクルマユリ、ホソバクルマユリ、タガイハクルマユリ))、<i>Lilium pensylvanicum</i> (エゾスカシユリ)、<i>Maianthemum bifolium</i> (ヒメマイヅルソウ (ヒメマイズルソウ、ケマイズルソウ、ニッコウマイヅルソウ))、<i>Streptopus streptopoides</i> subsp. <i>japonicus</i> (タケシマラン)、<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>coccinea</i> (チシマゼキショウ (クロミノイワゼキショウ、クロミゼキショウ、リシリゼキショウ))、<i>Trillium apetalon</i> (エンレイソウ)、<i>Trillium camschatcense</i> var. <i>camschatcense</i> (オオバナノエンレイソウ)、<i>T</i></p>	
--	-----------	--	--

		<i>rillium channellii</i> (カワユエンレイソウ)、 <i>Trillium tschonoskii</i> (ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソウ))、 <i>Trillium x y ezoense</i> (トカチエンレイソウ)
	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> (ヤマノイモ(ジネンジ ヨ、ヤマイモ))
	アヤメ	<i>Iris sanguinea</i> (アヤメ)、 <i>Iris setosa</i> var. <i>setosa</i> (ヒオウギアヤメ)
	イグサ	<i>Juncus filiformis</i> (エゾホソイ(カラフトホ ソイ、コウライイ、リシリイ))、 <i>Luzula jimboi subsp. atrotepala</i> (ミヤマヌカボシ ソウ(ミヤマスズメノヒエ))、 <i>Luzula o ligantha</i> (タカネスズメノヒエ)
	イネ	<i>Agrostis flaccida</i> (ミヤマヌカボ(ヒメコメ ススキ))、 <i>Agrostis mertensii</i> (コミヤマ ヌカボ)、 <i>Arundinella hirta</i> (トダシバ)、 <i>Deschampsia flexuosa</i> (コメススキ(アオコ メススキ))、 <i>Elymus sibiricus</i> (エゾムギ)、 <i>Festuca ovina subsp. ruprechtii</i> (ミヤマウ シノケグサ)、 <i>Glyceria depauperata</i> var. <i>i nfirma</i> (ウキガヤ)、 <i>Schizachne purpurasc ens subsp. callosa</i> (フォーリーガヤ)、 <i>Sp odiopogon sibiricus</i> (オオアブラススキ)、

		<i>Stipa coreana</i> var. <i>japonica</i> ( ヒロハノハネガヤ )、 <i>Stipa pekinensis</i> ( ハネガヤ ( ペキンハネガヤ ) )、 <i>Torreyochloa natans</i> ( ホソバドジョウツナギ )
	サトイモ	<i>Calla palustris</i> ( ヒメカイウ ( ミズザゼン、ミズイモ ) )、 <i>Lysichiton camtschaticense</i> ( ミズバショウ )、 <i>Symplocarpus nipponicus</i> ( ヒメザゼンソウ )
	ミクリ	<i>Sparganium emersum</i> ( エゾミクリ )、 <i>Sparganium erectum</i> var. <i>erectum</i> ( ミクリ )、 <i>Sparganium glomeratum</i> var. <i>glomeratum</i> ( タマミクリ )
	カヤツリグサ	<i>Carex augustinowiczii</i> var. <i>augustinowiczii</i> ( ヒラギシスゲ ( エゾアゼスゲ ) )、 <i>Carex bohemica</i> ( カヤツリスゲ )、 <i>Carex canescens</i> ( ハクサンスゲ )、 <i>Carex capricornis</i> ( ジョウロウスゲ ( ヒロハノジョウロウスゲ ) )、 <i>Carex humilis</i> var. <i>nana</i> ( ホソバヒカゲスゲ ( ヒメヒカゲスゲ ) )、 <i>Carex limosa</i> ( ヤチスゲ ( カラフトヤチスゲ ) )、 <i>Carex loliacea</i> ( アカンスゲ )、 <i>Carex mertensii</i> var. <i>urostachys</i> ( キンチャクスゲ ( イワキスゲ ) )、 <i>Carex middendorffii</i> var. <i>m</i>

		<p><i>iddendorffii</i> (トマリスゲ (ホロムイスゲ、クロスゲ))、<i>Carex omiana</i> var. <i>monticola</i> (カワズスゲ)、<i>Carex pallida</i> (ウスイロスゲ (エゾカワズスゲ))、<i>Carex parciflora</i> var. <i>parciflora</i> (グレーンスゲ (カミコウチスゲ))、<i>Carex pseudocuraica</i> (ツルスゲ (ツルカワズスゲ))、<i>Carex pseudocyperus</i> (クグスゲ (ジョウロウスゲモドキ))、<i>Carex pseudololiacea</i> (ヒロハイツポンスゲ (オオツルスゲ、セイタカツルスゲ))、<i>Carex remotiuscula</i> (イトヒキスゲ)、<i>Carex scita</i> var. <i>riishirensis</i> (リシリスゲ (マシケスゲ))、<i>Carex tsuishikarensis</i> (ホロムイクゲ)、<i>Carex uda</i> (エゾハリスゲ (オオハリスゲ))、<i>Carex vanheurckii</i> (ヌイオスゲ (シロウマヒメスゲ))、<i>Carex viridula</i> (エゾサワスゲ (ヒメサワスゲ))、<i>Eriophorum vaginatum</i> subsp. <i>fauriei</i> (ワタスゲ (スズメノケヤリ))、<i>Fimbristylis dichotoma</i> var. <i>tentsuki</i> (テンツキ)、<i>Kyllinga brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i> (ヒメクグ)</p>	
	ラン	<p><i>Calanthe nipponica</i> (キンセイラン)、<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>erecta</i> (ギンラン)、</p>	

	<p> <i>Cephalanthera longibracteata</i> ( ササバギンラン )、<i>Cremastra appendiculata</i> var. <i>variabilis</i> ( サイハイラン )、<i>Dactylorhiza aristata</i> ( ハクサンチドリ )、<i>Dactylorhiza aristata</i> f. <i>albiflora</i> ( シロバナハクサンチドリ )、<i>Dactylorhiza viridis</i> ( アオチドリ ( ネムロチドリ、タカネアオチドリ、チシマアオチドリ ) )、<i>Dactylostalix ringens</i> ( イチヨウラン ( ヒメヒトハラン ) )、<i>Ehippianthus schmidtii</i> ( コイチヨウラン )、<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>papillosa</i> ( エゾスズラン ( アオスズラン ) )、<i>Epipogium aphyllum</i> ( トラキチラン )、<i>Galearis cyclochila</i> ( カモメラン ( カモメソウ、イチヨウチドリ ) )、<i>Gastrodia elata</i> var. <i>elata</i> ( オニノヤガラ )、<i>Goodyera repens</i> ( ヒメミヤマウズラ )、<i>Liparis krameri</i> var. <i>krameri</i> ( ジガバチソウ )、<i>Liparis kumokiri</i> ( クモキリソウ )、<i>Liparis makinoana</i> ( スズムシソウ ( スズムシラン ) )、<i>Malaxis monophyllos</i> ( ホザキイチヨウラン ( ホザキフタバラン ) )、<i>Myrmechis japonica</i> ( アリドオシラン )、<i>Neolindleya camtschatica</i> ( ノビネチドリ )、 </p>	
--	---	--

	<p> <i>Neottia cordata</i> (コフタバラン (フタバラン) )、<i>Neottia nidus-avis</i> (エゾサカネラン) )、<i>Neottia nipponica</i> (ミヤマフタバラン) )、<i>Neottia papilligera</i> (サカネラン) )、<i>Neottianthe cucullata</i> (ミヤマモジズリ) )、<i>Oreorchis patens</i>(コケイラン(ヒメケイラン、ヒメコケイラン) )、<i>Platanthera chorisiana var. chorisiana</i> (タカネトンボ) )、<i>Platanthera chorisiana var. elata</i> (ミヤケラン) )、<i>Platanthera fuscescens</i> (ヒロハトンボソウ) )、<i>Platanthera metabifolia</i> (エゾチドリ (フタバツレサギ) )、<i>Platanthera ophrydioides</i> (キソチドリ) )、<i>Platanthera sachalinensis</i>(オオヤマサギソウ(キラيشュチドリ) )、<i>Platanthera tipuloides subsp. tipuloides var. sororia</i> (ホソバノキソチドリ (ツブラトンボソウ) )、<i>Platanthera tipuloides subsp. nipponica</i>(コバノトンボソウ) )、<i>Platanthera ussuriensis</i> (トンボソウ (コトンボソウ) ) </p>	
--	---	--

(イ) 植栽等規制植物及び区域

植物を植栽し、又は当該植物の種子をまくことを規制する植物及びその区域を次のとおりとする。

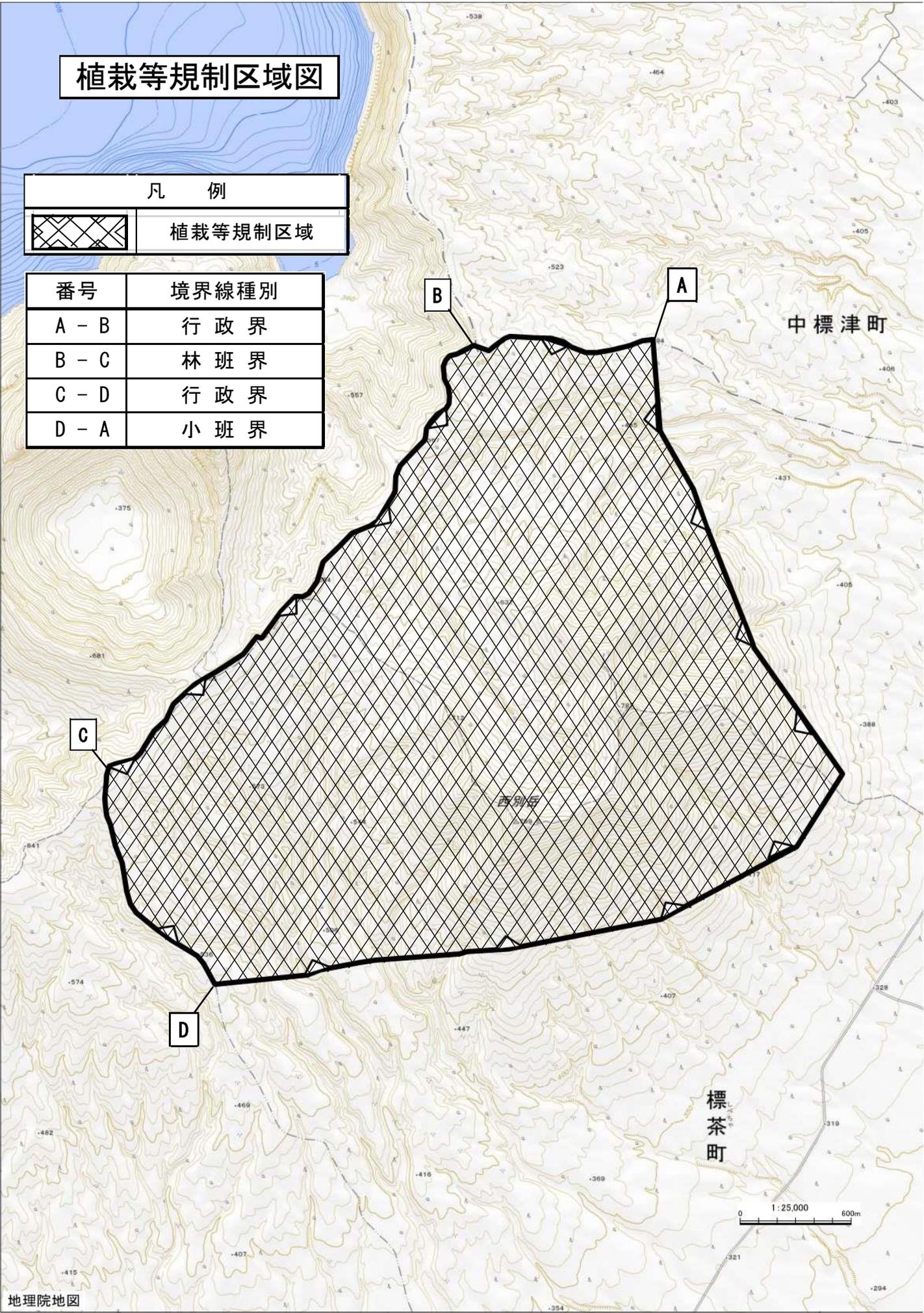
(表3：植栽等規制植物及び区域表)

名称	区域	地種区分	区域の概要	面積 (ha)	植栽等規制植物
西別岳	北海道川上郡標茶町内 国有林根釧西部森林管 理署 3420 林班の全部並び に 3405 林班、3406 林班、 3412 林班、3413 林班及び 3419 林班の各一部	第 1 種特別地域	<p>西別岳及びその周辺は、ササ地にダケカンバ等が点在する亜高山植生が主体であり、山頂や稜線付近にはイワブクロやガンコウラン等の高山植生が見られる。</p> <p>当該地域にはコマクサの生育が可能と考えられる環境が点在しているが、自生していたという学術上の記録は無い。しかし近年、外部から人為的に持ち込まれた種子が播かれた可能性があるほか、既に数個体が生育している事が確認された。このため、持ち込まれたコマクサが今後定着及び拡大し、在来の植物相に影響を及ぼすおそれがある。</p> <p>本指定区域は、これらの自然環境を保護するため、コマクサの播種や定着等が想定される地域を選定したものである。</p>	853.5	コマクサ

# 植栽等規制区域図

凡 例	
	植栽等規制区域

番号	境界線種別
A - B	行政界
B - C	林班界
C - D	行政界
D - A	小班界



(ウ) 乗入れ規制区域及び期間

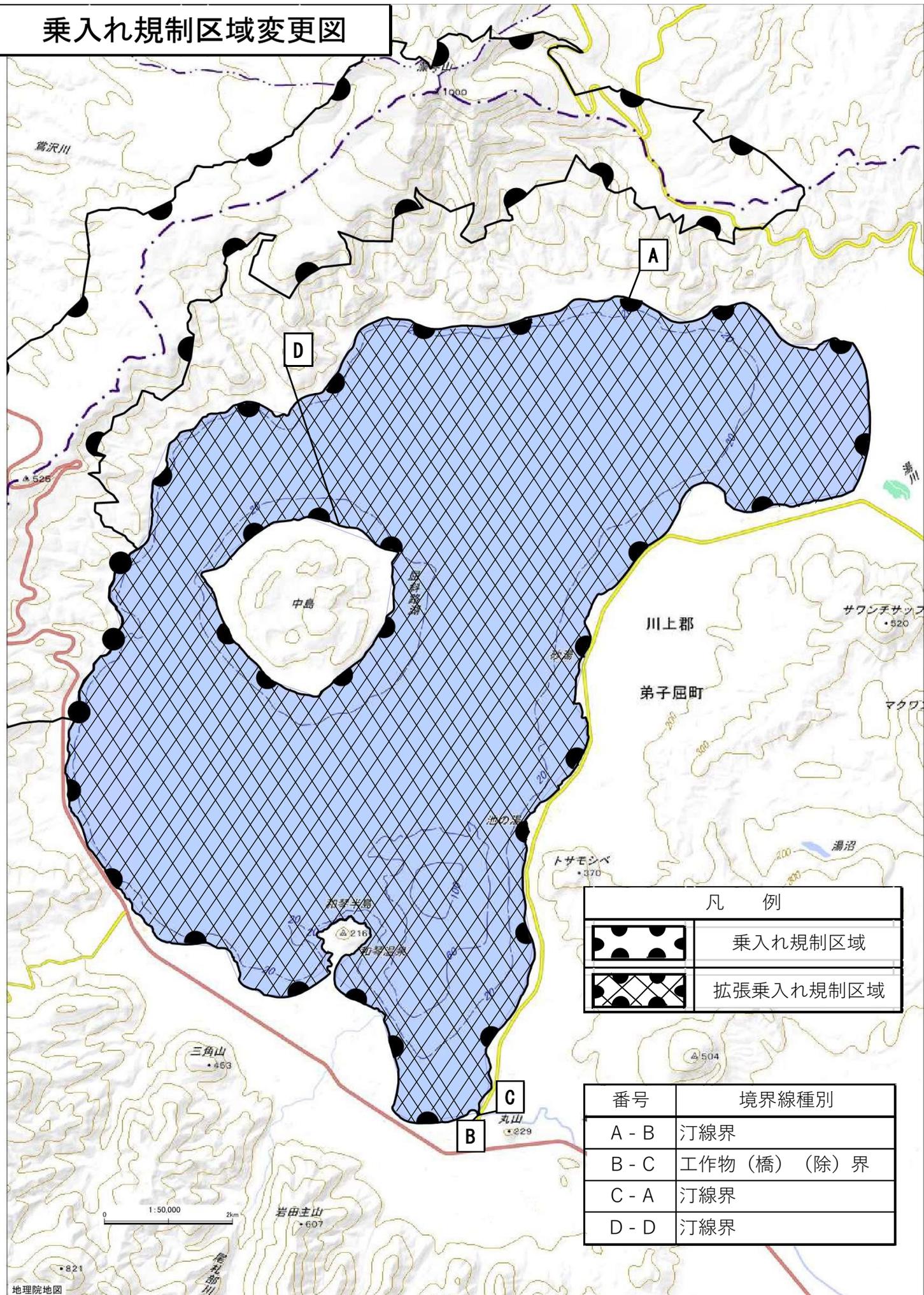
車馬若しくは動力船の使用又は航空機の着陸を規制する区域の一部を次のとおり変更する。

(表4：乗入れ規制区域及び期間変更表)

番号	区分	名称	区域	地種区分	変更理由	変更面積 (ha)	変更後面積 (ha)	変更前 期間	変更後 期間
1	拡張	藻琴山及び美幌峠、屈斜路湖	<p>北海道網走郡大空町内 国有林網走南部森林管理署255林班、257林班、261林班及び265林班の各一部</p> <p>北海道網走郡美幌町内 国有林網走南部森林管理署17林班から22林班まで、25林班及び27林班から29林班までの各一部</p> <p>北海道斜里郡小清水町内 国有林網走南部森林管理署336林班、338林班、339林班、351林班及び353林班の各一部</p>	第1種特別地域	<p>屈斜路湖の北にそびえる藻琴山とそれに連なる美幌峠にかけての乗入れ規制区域に、新たに屈斜路湖の水面の全部を加える。</p> <p>屈斜路湖はシラカバやミズナラ、エゾマツ、トドマツ等からなる針広混交林に囲まれた日本最大のカルデラ湖であり、湖と森林、外輪山による良好な自然景観を呈している。</p> <p>当該区域においては、近年、水上スキーや釣り等を目的とした動力船の利用が増加しており、弟子屈町が事務局を務める屈斜路湖適正利用連絡協</p>	7,954	12,343	通年	変更なし

		<p>北海道斜里郡小清水町 字もこと山の全部</p> <p>北海道川上郡弟子屈町内 国有林根釧西部森林管 理署4175 林班から 4182 林班まで、4189 林班、4194 林班及び 4199林班の全部並びに 4183 林班、4185 林班 から4187 林班まで、 4190 林班から4193 林 班まで、4195 林班、 4197 林班、4198 林 班、4200 林班から 4202 林班まで及び 4204 林班の各一部 屈斜路湖の水面の区域</p> <p>(上の区域のうち、道 路、広場、田、畑、牧場 及び宅地の区域を除く)</p>		<p>議会によって利用上のル ールが設けられているほ か、公共の発着場が整備 されているなど、利用の 適正化が図られてきた。 しかし実際は、暴走行為 や湖岸全域での発着・係 留等が無秩序に行われて いるため、屈斜路湖の静 謐な風致が損なわれてい るほか、水生植物や湖畔 林の生育に影響が及ぶお それがある。</p> <p>本拡張区域は、これら の自然環境を保護するた め、動力船の乗入れが想 定される地域を選定した ものである。</p>				
--	--	---	--	--	--	--	--	--

# 乗入れ規制区域変更図



4 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

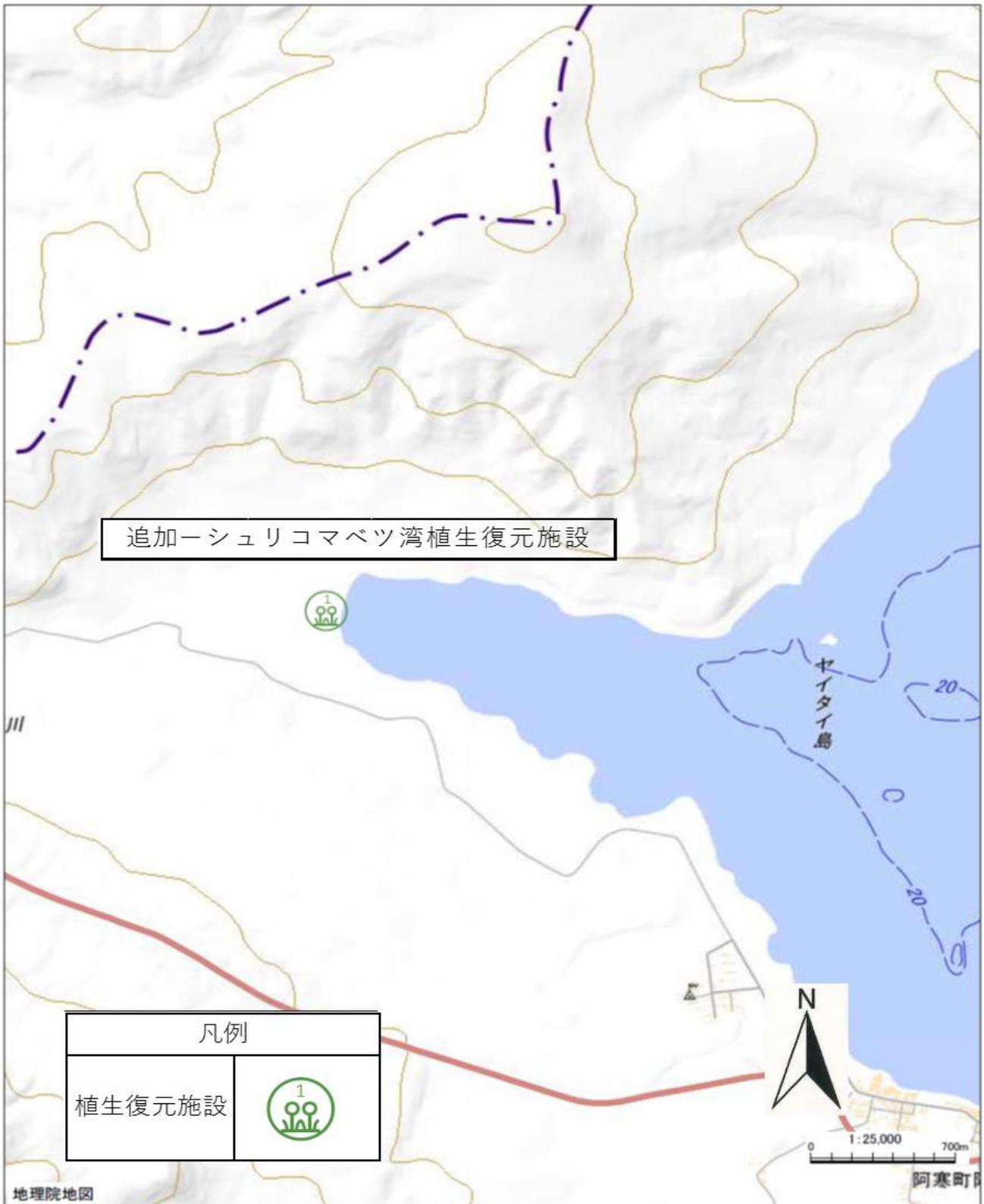
(ア) 植生復元施設

次の植生復元施設を追加する。

(表5：植生復元施設追加表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	植生復元 施設	北海道釧路市(シュリコマベツ湾)	失われた球状マリモの生育地を復元する。	新規

保護施設計画変更図



イ 利用施設計画

利用施設計画の一部を次のとおり変更する。

(ア) 集団施設地区

阿寒湖畔集団施設地区を次のとおり変更する。

(表6：区域変更表)

番号	区分	名称	告示 年月日	変更部分 の区域	変更理由	変更面積 (ha)	変更後面積 (ha)
3	拡張	阿寒湖畔	昭和 62.3.30	北海道釧路市 阿寒町阿寒湖温泉の一部	集団施設地区内の園路 と一体的に管理されて いる歩道が含まれる範 囲について、区域への編 入を行うもの。	25.1	106.1

(表7：集団施設地区表)

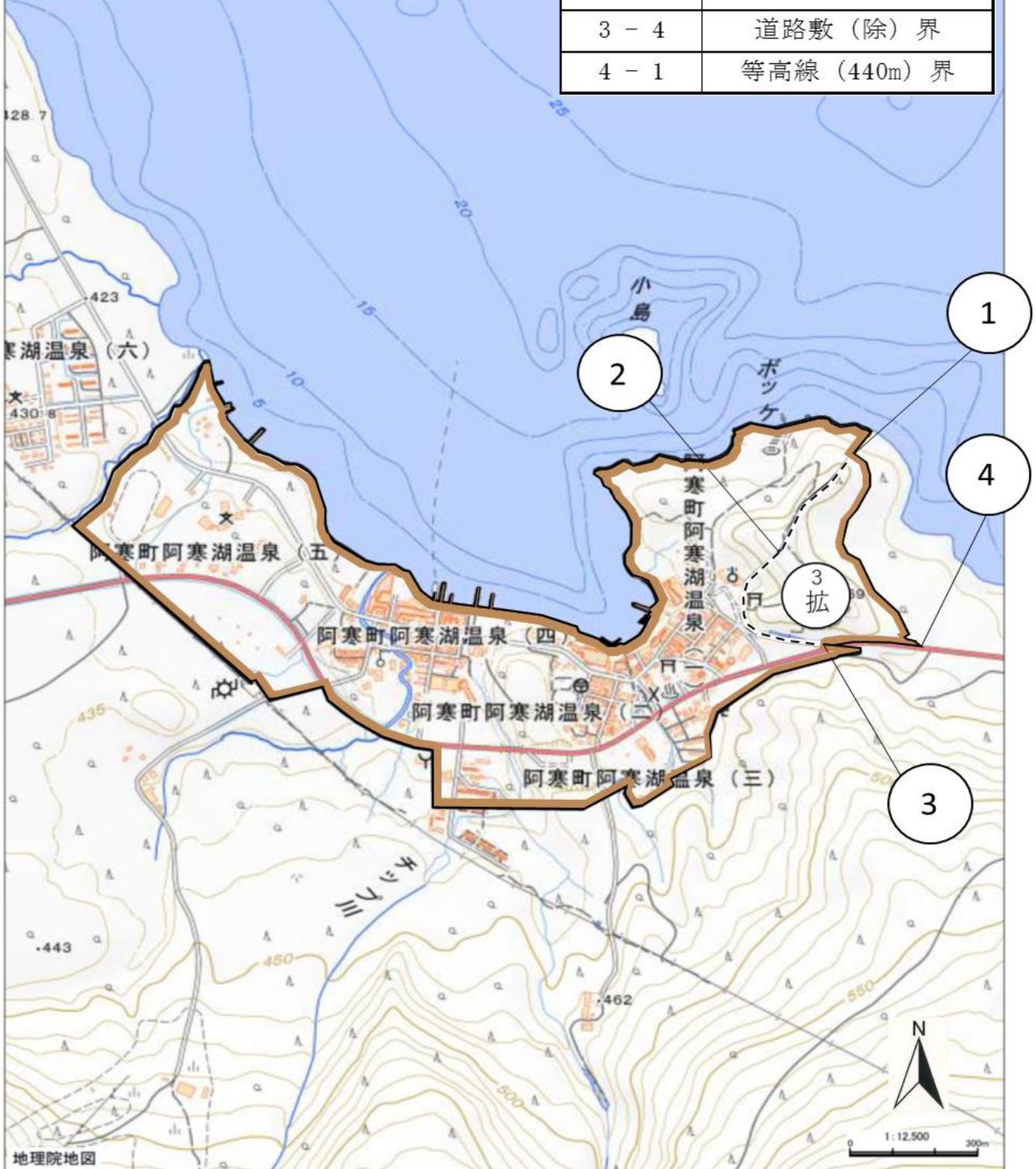
番号	名称	区域	計画目標	整備計画区 及び基盤施設	整備方針	面積 (ha)
3	阿寒湖畔	北海道釧路市内 国有林根釧西部 森林管理署 2149 林班及び 2150 林 班の各一部  北海道釧路市 阿寒町阿寒湖温 泉、シアンヌ及 びシュリコマベ ツの一部	本地区は阿寒湖に面し、周囲 はミズナラ、ハンノキ、アカエゾ マツ等の針広混交林に囲まれた 温泉地となっており、年間 52 万 人(令和元年度)の宿泊利用者 がある。	阿寒湖畔地区	公園西側の利用拠点とし て、四季型の利用推進を図る ための施設整備を行う。  既存施設の充実を図るとと もに、エコミュージアムセン ター、湖岸遊歩道、宿泊施設、 園地、駐車場、野営場、スケ ート場等の整備を行う。  なお、施設の整備にあたっ ては、湖岸及び自然林の保護 並びに各施設からの排水及び 土砂の流出等による阿寒湖の 水質汚濁の防止に努めるとと もに、雄阿寒岳や阿寒湖等へ の眺望にも配慮するよう努め る。	106.1
			近年、旅行形態の変化や景観 形成や街作りの取組みの推進 等、本地区の社会的条件が変化 している。			
			その社会的変化に対応し、四 季型の利用推進を図るための拠 点とする。			
			面積計	国	公	私
				15.6	25.1	65.4
				106.1		

集団施設地区計画変更図

凡 例

変更後の区域線	
廃止される区域線	

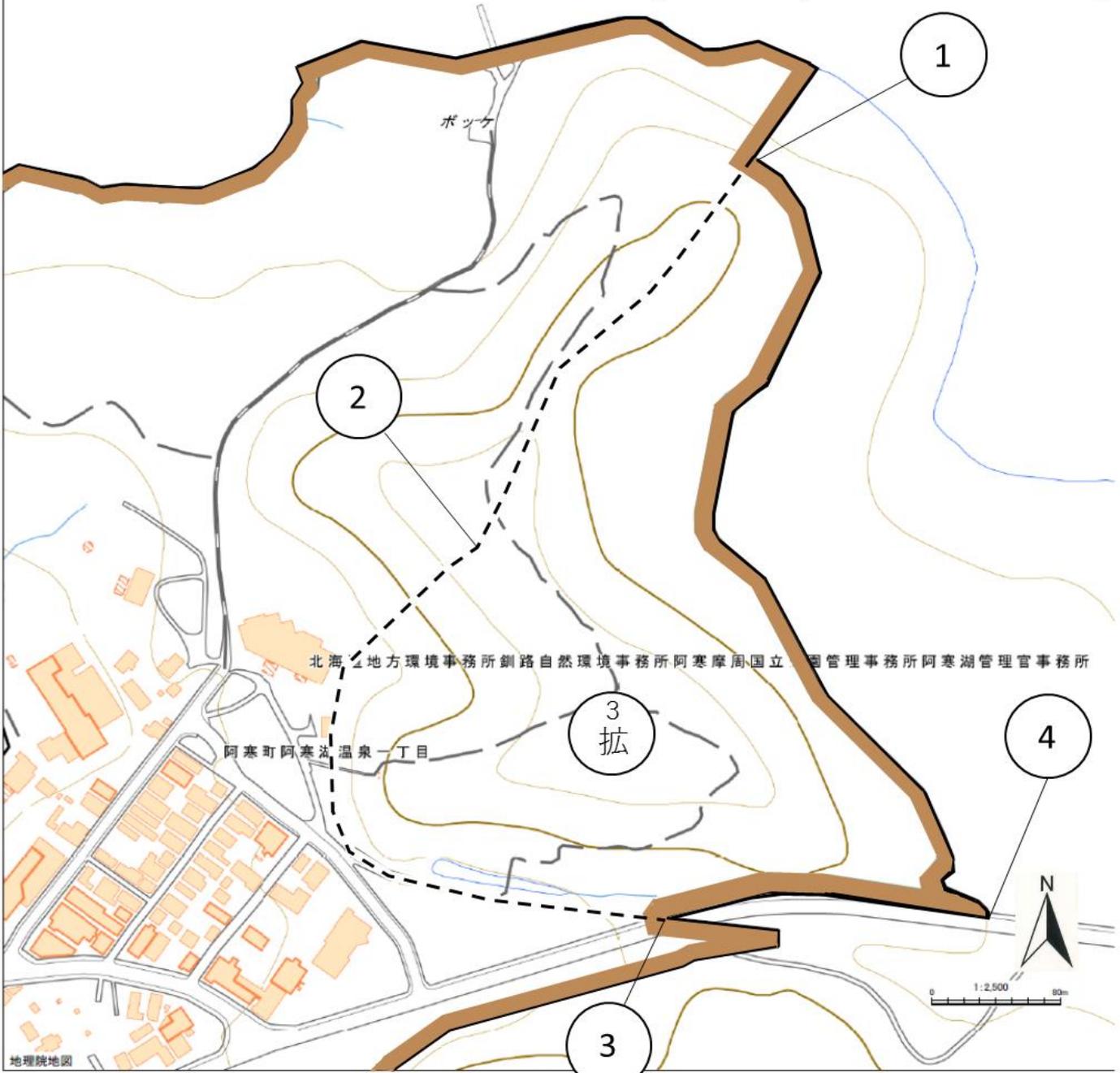
拡張	
1 - 2	稜線界
2 - 3	地番界
3 - 4	道路敷 (除) 界
4 - 1	等高線 (440m) 界



集団施設地区計画変更図（詳細図）

変更後の区域線	
廃止される区域線	

凡 例	
拡張	
1 - 2	稜線界
2 - 3	地番界
3 - 4	道路敷（除）界
4 - 1	等高線（440m）界



(イ) 単独施設

次の単独施設を追加する。

(表8：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
50	避難小屋	北海道釧路市(阿寒町舌辛)	屈斜路・阿寒カルデラ縦走線の利用者のための避難小屋として整備する。	新規

利用施設計画変更図 1

凡 例

避難小屋



追加—避難小屋 (阿寒町舌辛)



釧路市

弟子屈

0 1:25,000 600m

地図

## (ウ) 道路

## a 歩道

次の歩道を追加する。

(表9：道路(歩道)追加表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整 備 方 針	告示年月日
17	神の子池摩周湖探勝線	起点 - 北海道斜里郡清里町(神の子池園地) 終点 - 北海道川上郡清里町(裏摩周展望台・歩道合流点)	神の子池 裏摩周展望台 摩周湖	神の子池から裏摩周展望台への到達及び摩周湖の展望のための歩道として整備する。	新規
18	屈斜路湖藻琴山接続登山線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(字跡佐登・歩道分岐点) 終点 - 北海道斜里郡小清水町(藻琴山八合目園地・歩道合流点)	屈斜路湖 藻琴山	屈斜路湖から藻琴山八合目への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備する。	新規
19	屈斜路湖美幌峠接続登山線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(オンネシレト川河口北側・歩道分岐点) 終点 - 北海道網走郡美幌町(美幌峠・歩道合流点)	屈斜路湖 美幌峠	屈斜路湖から美幌峠への登山により屈斜路カルデラ外輪山に接続するための歩道として整備する。	新規
20	屈斜路・阿寒カルデラ縦走線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(三角山山麓) 終点 - 北海道釧路市(滝口・歩道合流点) 北海道釧路市(国立公園境界)	屈斜路湖 尾札部川 双湖台 滝口	屈斜路カルデラ外輪山と阿寒カルデラ外輪山への登山及び両カルデラを展望し阿寒地域と摩周地域を縦走するための歩道として整備する。	新規
21	川湯温泉川線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(川湯集団施設地区) 終点 - 北海道川上郡弟子屈町(字サワンチサップ・歩道合流点)	ミソノ川 湯川	川湯温泉から屈斜路湖に流れ込む温泉川沿いを探勝する歩道として整備する。	新規
22	アカエゾマツの森探勝路	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(川湯集団施設地区) 終点 - 北海道川上郡弟子屈町(川湯集団施設地区・歩道合流点)	アカエゾマツの森	川湯博物展示施設を中心とした自然探勝フィールド及び川湯硫黄山線に向かうための歩道として整備する。	新規
23	硫黄山登山線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(硫黄山園地・歩道分岐点) 終点 - 北海道川上郡弟子屈町(硫黄山東山麓・歩道合流点)	硫黄山 熊落とし	硫黄山において登山のガイドツアーを行うための登山道として整備する。	新規
24	美留和摩周湖線	起点 - 北海道川上郡弟子屈町(美留和・歩道分岐点) 終点 - 北海道川上郡弟子屈町(摩周第一展望台・歩道合流点)	摩周湖	美留和から摩周湖への探勝歩道として整備する。	新規

次の歩道を次のとおり変更する。

(表10：道路(歩道)変更表)

現 行					新 規					理 由
番号	路線名	区 間	主 要 経 過 地	告 示 年 月 日	番号	路線名	区 間	主 要 経 過 地	整 備 方 針	
2	屈斜路湖北 西外輪山線	起点 北海道網走郡美幌町 (美幌峠) 終点 北海道網走郡美幌町 (藻琴山・歩道分岐点)		平 10.8.31 告示 の変更	2	屈斜路湖 北西外輪 山線	起点 北海道網走郡美幌町 (藻琴山山頂・歩道分岐点) 終点 北海道川上郡弟子屈町 (津別峠展望台・国立公園境界)	藻琴山 美幌峠 サマッカ リヌプリ	屈斜路カルデラの北側 及び西側の外輪山上を 探勝するための歩道と して整備する。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、藻琴山から津別峠ま での屈斜路カルデラ外輪 山をつなぐ歩道とするた め路線の延長と起終点の 変更を行う。
10	屈斜路湖畔 線	起点 北海道川上郡弟子屈町 (川湯集団施設地区) 終点 北海道川上郡弟子屈町 (碁石ヶ浜)	碁石ヶ浜	平 10.8.31 告示 の変更	10	屈斜路湖 周回線	起点 北海道川上郡弟子屈町 (字サワンチサップ) 終点 北海道川上郡弟子屈町 (和琴半島)	碁石浜 仁伏	屈斜路湖の周回及び和 琴半島到達するための 探勝歩道として整備す る。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、屈斜路湖の湖岸を1 周する歩道とするため路 線の延長を行う。
11	摩周湖西別 岳探勝線	起点 北海道川上郡弟子屈町 (摩周第三展望台) 終点 北海道川上郡弟子屈町 (摩周岳) 終点 北海道川上郡標茶町 (西別岳登山口)	摩周第一 展望台 西別岳	平 15.8.20 告示	11	摩周湖西 別岳探勝 線	起点 北海道川上郡弟子屈町 (摩周第三展望台) 起点 北海道川上郡清里町 (裏摩周展望台・歩道分岐点) 終点 北海道川上郡弟子屈町 (摩周岳) 終点 北海道川上郡標茶町 (西別岳登山口)	摩周第一 展望台 裏摩周園 地 摩周岳 西別岳	摩周湖の景観及び摩周 岳、西別岳への登山道と して整備する。	阿寒摩周国立公園トレイ ルネットワーク構想に基 づき、裏摩周園地からも 西別岳、摩周岳へと登頂 可能な登山道とするた め、路線の延長と起点の 追加を行う。



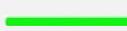
# 利用施設計画変更図 3

終点  
(藻琴山八合目園地・歩道合流点)

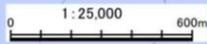
追加一屈斜路湖藻琴山接続登山線

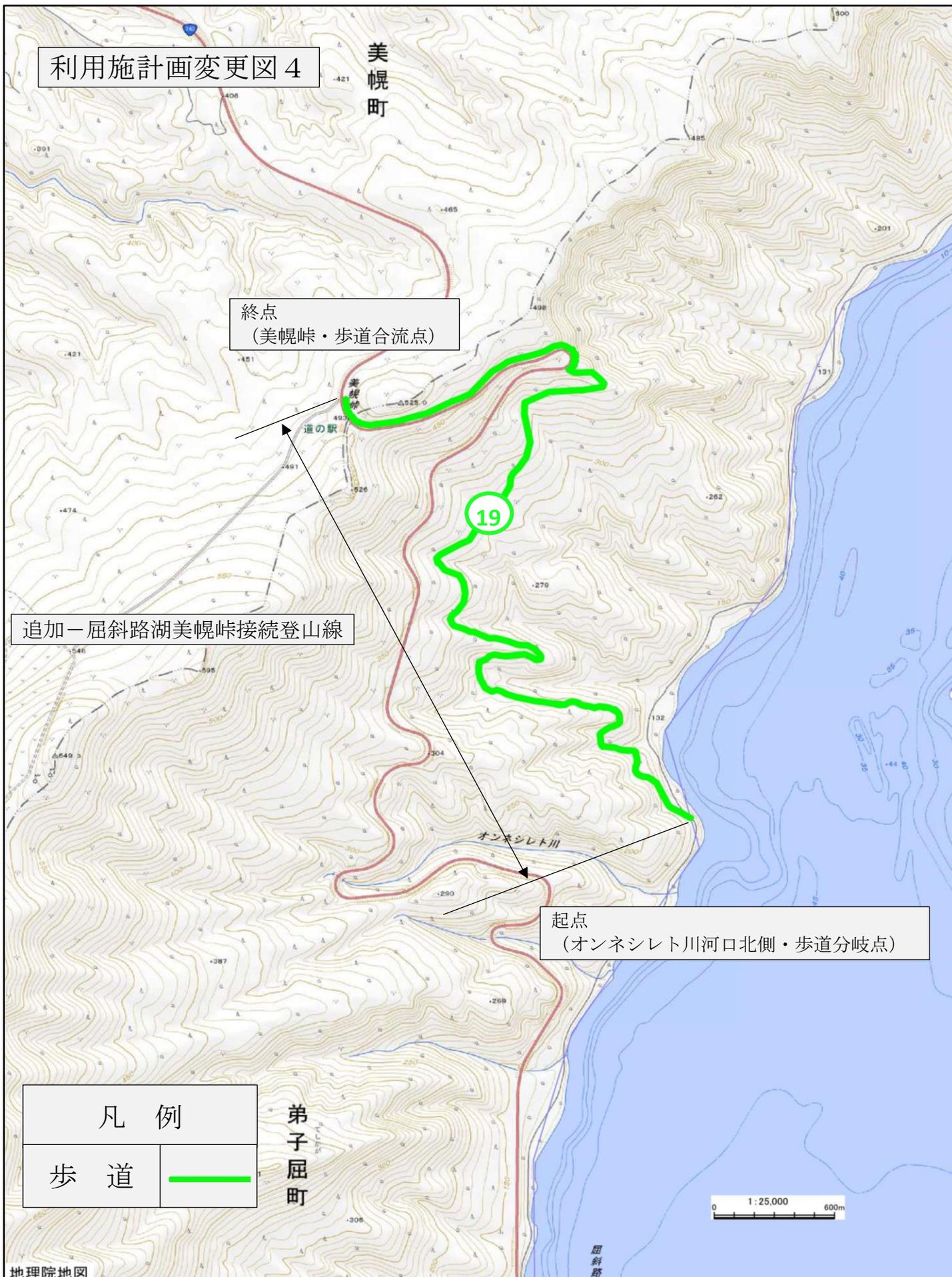
18

起点  
(字跡佐登・歩道分岐点)

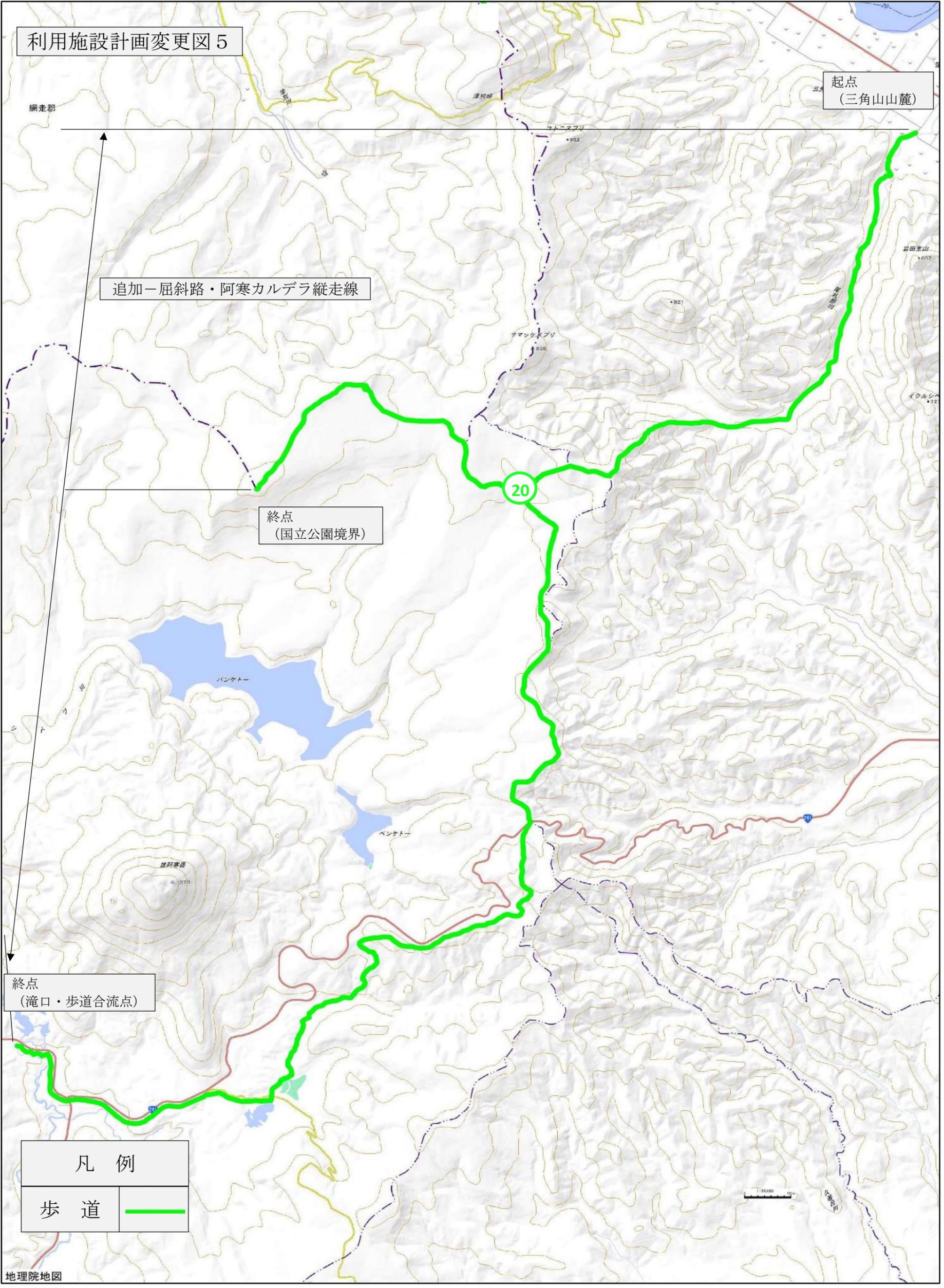
凡 例	
歩 道	

地理院地図





利用施設計画変更図 5

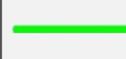


起点  
(三角山山麓)

追加一屈斜路・阿寒カルデラ縦走線

終点  
(国立公園境界)

終点  
(滝口・歩道合流点)

凡 例	
歩 道	

# 利用施設計画変更図 6

終点  
(字サワンチサップ・歩道合流点)

起点  
(川湯集團施設地区)

追加一川湯温泉川線

21

凡 例

歩 道



# 利用施計画変更図 7



起点  
(川湯集团施設地区)

追加ーアカエゾマツの森探勝路

22

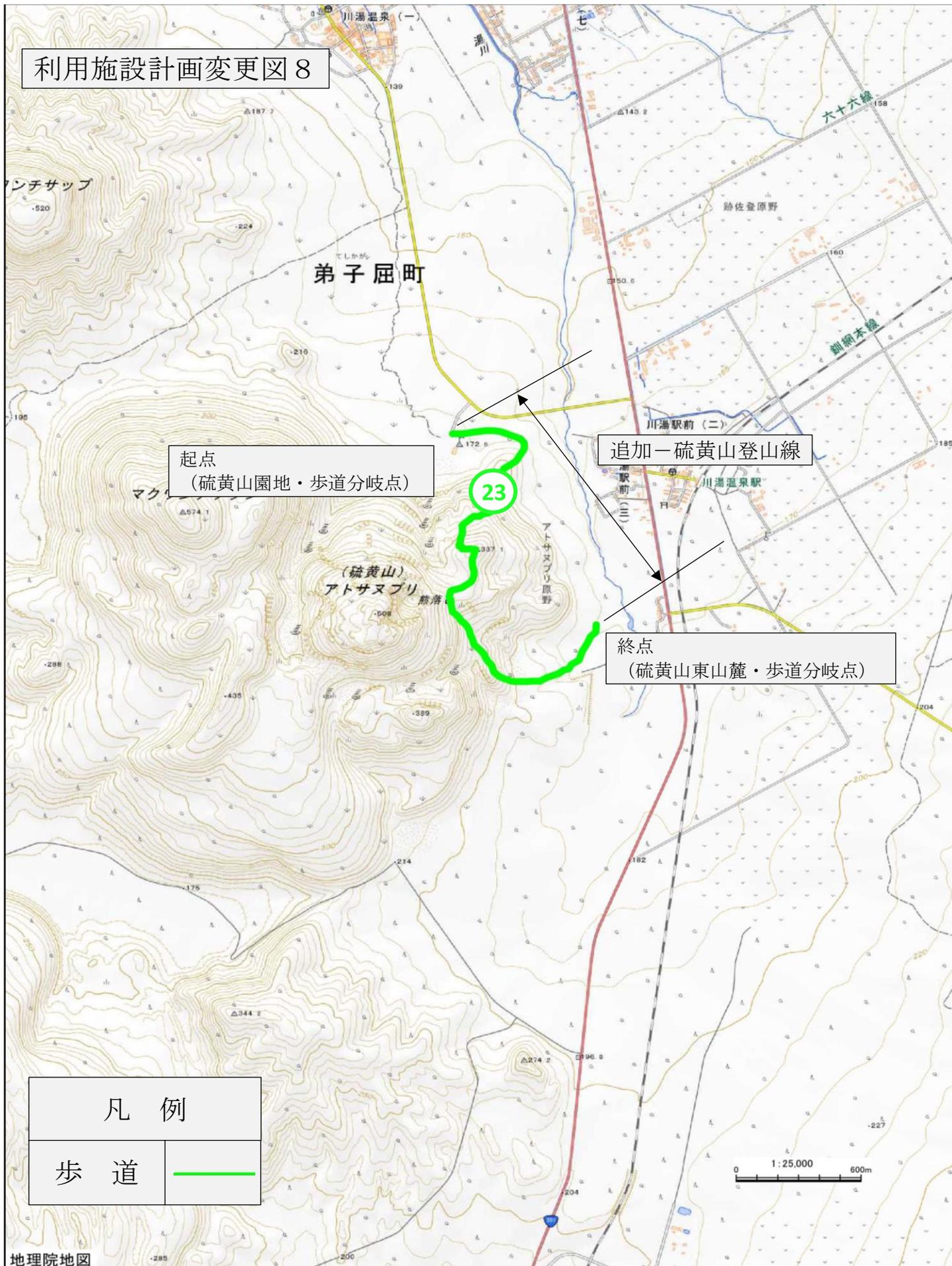
終点  
(川湯集团施設地区・歩道合流点)

凡 例	
歩 道	

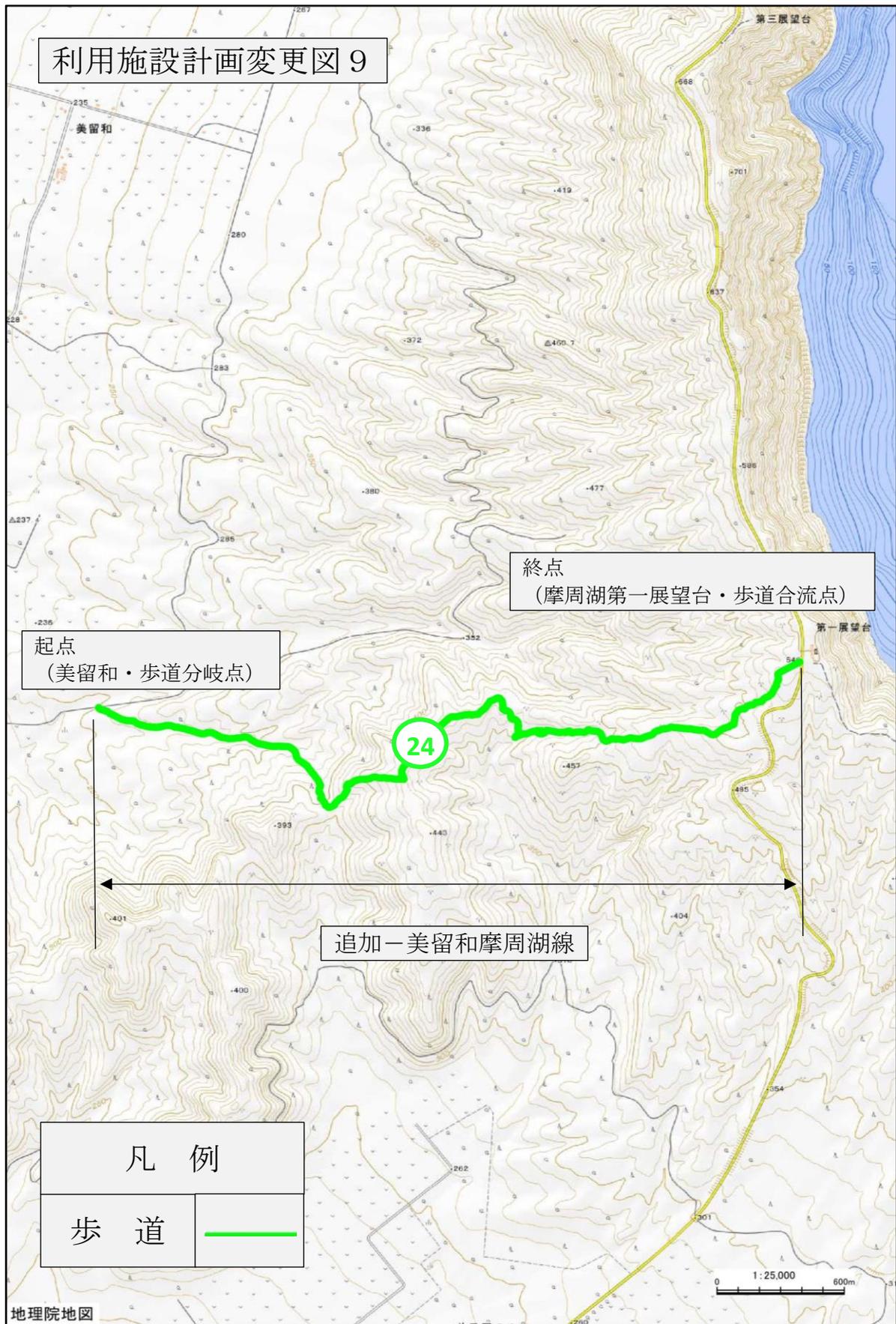
1:25,000

600m

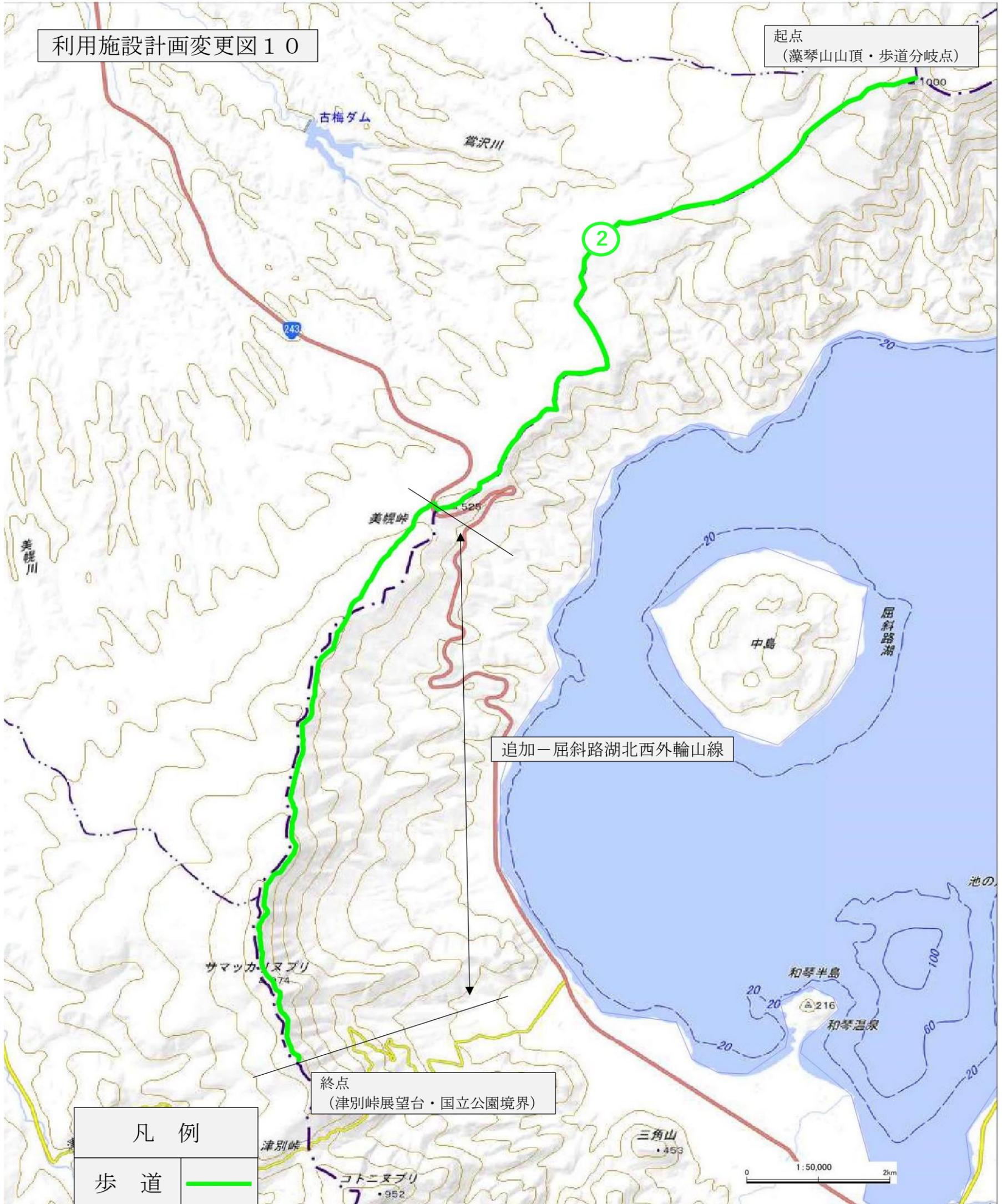
# 利用施設計画変更図 8



# 利用施設計画変更図 9



利用施設計画変更図10



利用施設計画変更図 1 1

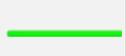
追加-屈斜路湖周回線

起点  
(サワンチサップ)

終点  
(和琴半島)

凡例

歩道



利用施設計画変更図 1 2



5 参考事項

参考事項を次のとおり変更する。

(表 11：参考事項変更表)

変 更 前	変 更 後
<p>( 3 ) 過去の経緯</p> <p>昭和 9 年 12 月 4 日 公園区域の指定</p> <p>昭和 13 年 5 月 13 日 特別地域の指定</p> <p>昭和 29 年 8 月 3 日 特別保護地区の指定</p> <p>昭和 52 年 11 月 15 日 公園区域及び公園計画の全般的な見直し (再検討)</p> <p>昭和 62 年 3 月 30 日 公園計画の変更(第 1 次点検)</p> <p>平成 2 年 12 月 1 日 公園計画の変更(乗入れ規制地域の指定)</p> <p>平成 5 年 1 月 28 日 公園計画の変更(第 2 次点検)</p> <p>平成 10 年 8 月 31 日 公園計画の変更(第 3 次点検)</p> <p>平成 15 年 8 月 20 日 公園計画の変更(公園事業の変更)</p> <p>平成 25 年 3 月 12 日 公園計画の変更(第 4 次点検)</p>	<p>( 3 ) 過去の経緯</p> <p>昭和 9 年 12 月 4 日 公園区域の指定</p> <p>昭和 13 年 5 月 13 日 特別地域の指定</p> <p>昭和 29 年 8 月 3 日 特別保護地区の指定</p> <p>昭和 52 年 11 月 15 日 公園区域及び公園計画の全般的な見直し (再検討)</p> <p>昭和 62 年 3 月 30 日 公園計画の変更(第 1 次点検)</p> <p>平成 2 年 12 月 1 日 公園計画の変更(乗入れ規制地域の指定)</p> <p>平成 5 年 1 月 28 日 公園計画の変更(第 2 次点検)</p> <p>平成 10 年 8 月 31 日 公園計画の変更(第 3 次点検)</p> <p>平成 15 年 8 月 20 日 公園計画の変更(公園事業の変更)</p> <p>平成 25 年 3 月 12 日 公園計画の変更(第 4 次点検)</p> <p><u>平成 29 年 8 月 8 日 公園区域及び公園計画の変更(第 5 次点 検)、阿寒摩周国立公園へ名称変更</u></p>